

日 時：2015 年 4 月 20 日（月） 15:30-17:00

場 所：建築会館ホール

出席者：委員長：岡田知子

委 員：工藤和美、佐藤栄治、重村力、野田満、山崎義人（敬称略）
栗原伸治（議事録作成）

資 料：①2015 年度農村計画委員会春季学術研究会 実施計画書

②2015 年度大会農村計画部門パネルディスカッションに関する資料

③2015 年度大会農村計画部門研究協議会に関する資料

④委員の委嘱に関する資料

I. 報告事項（学術交流委員会より）

1. 2016 年度大会について

- ・2016 年度大会は、8 月 24 日～26 日、福岡大学にて開催することが決定した。

2. 研究助成金について

- ・竹中育英会建築研究助成に、農村計画分野からの応募はなかった。
農村計画よりの応募分野がないため、応募しにくいとのこと。
→ ※ 次回の学術交流委員会で、委員長より伝えていただく。
- ・その他の研究助成金にも、積極的な応募が望まれる。

3. 2015 年度大会について

- ・2015 年度大会の学術講演会研究発表梗概の数は、前年度にくらべてやや減少した。
- ・2015 年度大会から、建築デザイン発表会と学術講演会の両方にエントリーすることが可能となったが、実際に両方にエントリーした数は少なかった。
- ・2015 年度大会は、開始を 30 分遅らせて、9:30～（初日は、9:45～）とする。
- ・若手優秀発表の表彰は、2015 年度大会でも実施する。

4. 2014 年度大会について

- ・2014 年度大会 PD「文化的景観のまもりかた-営みの真実性はどのように保たれるのか」の参加者は、学会からは 60 数名と報告されていたが（ある時間帯に 1 回だけカウント）、実際には 120 名の講義室で立ち見もいたほど盛況だった（そのような時間帯もあった）。最終的には、参加者 80 名が公式の記録となった。
→ ※ 今後、このようなズレが生じないように（ズレても、しっかりと訂正できるよう）、PD や研究協議会等を運営する小委員会は、会場全体の写真を撮るとともに、正確な参加人数を把握することが必要である。
- ・2014 年度大会研究協議会の参加人数は 110 名であった。

5. 2014 年度各調査研究委員会の活動報告会について

- ・2014 年度の各調査研究委員会の活動報告会が 2015 年 3 月に実施された。
農村計画委員会に対する意見は、おおむね好意的であった。
ex. ニーズに適合したテーマの調査研究がなされている
国土保全や災害をテーマとした活動がみられ、存在感がある
国際交流も活発で、高く評価できる
その一方で、以下のような意見もあった。
ex. 成果、とくに刊行物を定期的にだすように
本委員会の活動が活発なのはわかるが、小委員会の活動ももっと活発に

Ⅱ. 審議事項

1. 2015 年度農村計画委員会春季学術研究会について (資料①)
 - ・テーマ：「“奇跡の集落” が生まれる背景とインターンシップの取組み」
 - ・日 時：7 月 11 日 (土) 14:00～17:30
 - ・会 場：長岡震災アーカイブスセンター
(詳細については、資料を参照)
 - ・7 月 11 日 (土) 夜 懇親会
7 月 12 日 (日) 終日 十日町でエクスカージョン を予定
→ ※ 内容や告知の仕方を今後、小委員会で行なう。

2. 2015 年度大会農村計画部門パネルディスカッションについて (資料②)
 - ・テーマ：「農山漁村の持続力を支える地域組織とは？」
 - ・日 時：9 月 4 日 (金) 14:00～17:30
(詳細については、資料を参照)
 - ・プログラム等は、ほぼ確定している。
→ ※ 会場については、要相談。

3. 2015 年度大会農村計画部門研究協議会について (資料③)
 - ・テーマについて審議した結果、以下を提案する。
テーマ (案)：「災害としなやかに付き合う知恵：集落計画にどう活かすか？」
 - ・主題解説の候補者について審議した結果、資料にある方々にくわえ、
以下の方への打診を提案する。
貝島桃代氏 (筑波大学、アトリエ・ワン)；復興公営住宅の計画設計をおこなう
(あるいは、中越で実際に計画をおこなった方々にアプローチする?)
 - ・資料集の後には「災害の知恵」集を掲載する。
→ ※ 本研究協議会の提案委員会である集落復興小委員会には、
以上の提案をふまえて、内容をつめていただく。

4. 委員の委嘱について (資料④)
 - ・集落復興小委員会の委員として、
正会員 石山真季氏 (No.0604579/
秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科・助教)
の追加が承認された。
(委員追加のため、任期 2015 年 5 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)